

## 令和4年度 第1回学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 下呂特別支援学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和4年6月15日(水)
- 3 開催場所 書面開催
- 4 参加者  
オブザーバー 田口 広宣 下呂市副市長  
会長 細江 節子 下呂市単位民生委員児童委員協議会  
副会長 目次 丈太 佐橋工業株式会社  
委員 田口 久和 下呂市小川区長  
長谷川 和正 株式会社ハウテック  
今井 広一 加子母むらづくり協議会  
井口 フキ子 益田山ゆり園  
今井 悠香 下呂市障がい者生活相談センター  
奥田 あゆみ 下呂市福祉部こども家庭課  
二村 和仁 下呂特別支援学校PTA会長  
  
学校側 駒田 武彦 校長  
安田 明弘 事務長  
熊崎 礼子 教頭  
上村 篤 小中学部主事  
原 るみ子 高等部主事  
新屋 郁子 教務主任

### 5 会議の概要(協議事項)

#### (1) 学校経営計画及び組織編制について

- ア 学校経営計画と組織編制
- イ 小学部・中学部の方針と活動計画
- ウ 高等部の方針と活動計画

#### (2) 教育課程の編成について

- 意見1: DXも進んでいくので、ICT教育がさらに充実するとよい。コロナ禍は継続しており、ICT活用の必要性は増しているが、便利なツールである反面リスクもあり、情報モラルの指導も充実させられるとよい。
- 意見2: ウイズコロナへと変化していく中、オンラインであってもよいので地域との交流を進めて、コミュニケーションをとることは、社会自立に向け有効だと考える。
- 意見3: 校外での地域活動が増えるとよい。地域の人との交流が必要なときがあれば各地区の主任児童委員・民生委員児童委員に声をかけてほしい。
- 意見4: 児童生徒を取り巻く環境が多様化しており、対応力を高めるための授業や教材の工夫、教師間の情報共有は大切である。

意見5：各学部の目標を知ることができてよかった。校内での学習成果を地域に発信する機会が増えるとよい。

意見6：産業現場実習では、実習終了後に企業側からの評価をしているが、生徒や学校としての意見や感想、要望等も聞けると企業側の気付きや改善にも結び付くのではないかと。

意見7：卒業生が地域で働き、過ごす姿を、生徒や保護者が知る機会があると、社会生活のイメージができるのではないかと。

### (3) 年間行事計画について

意見1：コロナの感染状況が収まり地域交流の機会が増えることを願っている。対面とオンライン双方の検討がされているなど、行動の制限がある中で、今できる交流や発信方法等が工夫されている。

意見2：コロナ禍で計画を変更する必要がある場合でも、企業側は産業現場実習の変更に対応するので、可能な限り実施できるように相談してほしい。

### (4) 新型コロナウイルス感染症の防止対策と児童生徒の出欠席の連絡方法について

意見1：QRコードを読み取り、アンケートに答えることで出欠席の連絡ができることはとてもよい。

意見2：QRコードの利用は、どの保護者も可能か。児童生徒の出欠席を学校職員は共有できるのか。

⇒現段階では、保護者から困り感はない。本校のICT教育部の職員が校務用パソコンのアプリを設定することで、教師間で出欠席の情報共有をしている。

### (5) 学校生活のきまりについて

意見1：四ない運動の「免許を取らない」は、取得可能な生徒は該当しないと考えるとよいが、また、「乗せてもらわない」は、生徒間のことだけなのか。

⇒岐阜県としては免許取得を原則として許可していないが、就労等、一定の条件付きで校長が許可をしている。基本的に家族等以外の車に乗せてもらうことはしないよう指導している。

### (6) 作業製品の価格設定について

意見1：製品が増えているので、実物が見られることを楽しみにしている。

意見2：下呂市の企業や店舗とタイアップでコラボ商品を作成し、販売することもよいのではないかと。市内の店舗で販売することで、観光客等に本校の活動を知ってもらうことができ、それが生徒たちの自信につながるのではないかと。

意見3：製品を購入した人から「また欲しい」という声をよく聞く。購入できる機会が様々な場であるとよい。

意見4：昨年度オンラインバザーに参加した。生徒が製品の紹介をしたり、作る手順を見せたりすることで作業学習の様子を知ることができた。今年度も状況に応じたかたちでバザーの開催ができるとよい。

### (7) その他

意見1：児童生徒が一年間、学ぶ意欲をもって成長する姿を地域でも見守っていききたい。

意見2：学校南側の山道が、現在は石段の崩れなど危険なため利用できなくなっている。徒歩通学路としては本校から最も近く、車が通らない安全な道であるので、石段を修復して復旧できるとよい。

意見3：SDGsの「5. ジェンダー平等を実現しよう」にあるように、自分らしさを考え

る機会があってもよいのではないか。

## 6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会は校内の感染状況を踏まえ書面開催とした。協議事項である今年度の学校運営基本方針等について、全委員より承認が得られた。

I C T教育の充実に伴う情報モラルへの指導のあり方、産業現場実習の評価のあり方など、近々に取り組むべき課題や今後検討していくべき課題が意見として挙げられた。

意見を参考に、今後も「地域社会で主体的に生活する力を育てる」という教育目標に向け、保護者や地域の協力を得ながら学校運営を進め、地域に開かれた特色ある学校づくりを目指していく。